

教育DXレポート

教育現場における 生成AI活用に必要な視点

生成AIの発展は目覚ましく、テキスト生成AI「ChatGPT」はこの1年で多くのバージョンが公開され、推論能力の高いモデルも登場しました。様々なAIサービスが次々と進化しており、最新動向を把握するのは専門家でも一苦労です。昨年12月更新の文科省ガイドラインが示すAIリテラシーを教員・生徒が学び、変化に対応する力を養うことが重要です。

教育現場における生成AI

教育の現場において、AIの性質の中でもハルシネーションには気を付ける必要があります。ハルシネーションはAIが事実とは異なる情報を生成する現象で、生徒・教員いずれが利用する場合でも生成された情報が正しいものかどうかを見極める必要があります。AIの技術の進歩によって生成AIサービスが出始めたころと比較すると生成される回答の精度が高くなっており、正誤を判断して使うという点に限れば難しくなっているといえます。そのため、AIで生成されたままのものかどうかを判断するのは現実的ではないでしょう。生徒が使う生成AIをより良い形で利用できるように教員にも生成AIの理解を深めていく必要があります。

AIを利用する上で必要とするAIリテラシーは様々な範囲に及び明確な基準はない状態です。生成AIと向き合っていく中で重要とされるのは、技術進歩の早い生成AIに対して変化に適応していく姿勢ではないかと思います。そのためにも情報技術を学習や日常生活に活用できるようにすることが肝要です。これは生成AIに限らず、テクノロジーの分野をはじめ様々なことに目を向けることで、より充実した学習・教育環境の形成につながっていくでしょう。校務効率化などから利用し理解を深め、生徒が正しく活用できるような指導が必要になります。効率化によって生徒に対して時間をかけられるようになればより効果的な指導が期待できます。

AIによる効率的なフィードバック

効率化例として、AIを使った生徒へのフィードバックがあります。言語学習や面接対策での細かなミス訂正は繰り返しのやり取りで時間を要しますが、事前にAIで簡易添削することで教員と生徒の対話回数を減らし、質の高いフィードバックが可能になります。

これまで客観的な視点を得るには対人とのコミュニケーションが必要だった中、生徒が独力でその視点を得ることができるという点において、有用でしょう。もちろん、AIの出力結果を尊重し、自身で思考することを止めてしまえば本末転倒なので、適切な利用方法を検討していく必要があります。

また、フィードバックについて、生成AIで出力内容の傾向も決めることができるという点を把握しておく必要があります。例えば、ChatGPTであれば回答内容や表現方法をどのように出力するかを事前に決めることができます。プロンプトとして細かく指示を出したり、マイGPTというシステムで自身の望むようにカスタマイズを行うことでより求める回答に近いものを出力することが可能です。

専門家や指導者の視点で専門的なフィードバックを得たり、反対にその分野の知識の少ない方を想定した回答をしてもらうなど、状況によって出力内容を変更することが可能です。

生成AIに関しては無償で様々なサービスが扱える現在、トライ&エラーでまずは試してみることが重要です。そのためにも、生徒に対して生成AIを正しく活用できる指導が行えるよう、教員・生徒の皆さまにAIリテラシーについて学ぶ場を作ることが必要だと考えます。

コアネット教育総合研究所では生成AIに関するセミナーを実施します。生成AIとの向き合い方、現場での活用事例をお伝えしますので、ご興味にある方は裏面記載の概要をご覧ください。また、教員向け研修、生徒向け出張授業も実施しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



生成AIは、これまでにない速度で社会に浸透、そしてすさまじい速度で進歩しています。生徒が効率的に活用するためには教員の理解が欠かせません。昨年12月に改訂された「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」では、教師には一定のAIリテラシーを身に付けることが求められるとされています。この教師が身に付けるべき生成AIのリテラシーを中心に、教育現場における生成AIの利用についてお話しします。



私学マネジメント協会
セミナー申し込み

講師紹介

ゲスト講師



鳴門教育大学大学院
学校教育研究科特命教授
教員養成 DX 推進機構長

藤村 裕一氏

教員、行政職(教育政策・社会科・総合・情報教育・人権教育などを担当)を経て現職(教育ネットワークセンター、情報教育支援デスク立ち上げ等を行う)。文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関する検討会議」委員など。

コアネット教育総合研究所
新教育推進室

川田 脩平

日時
📅

6/5 (木) 18:00~20:00

会場
📍

KITENA新大阪
504

新大阪駅
徒歩 2分

対象
👥

管理職・情報科担当の方

費用
¥

一般 11,000円(税込)/人

会員校 無料 私学マネジメント協会の会員校の場合は3名様まで無料になります

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田、坂本)

E-mail info@core-net.net

ICT活用に役立つ情報公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

お問い合わせはこちら

